

肛門から「腸」が出てくる場合があります

肛門から「腸」が脱出してくる病気に直腸脱がありますが、痔と勘違いされたり、専門医でないために正しい診断を

受けていないケースが多々あります。高齢や過度のいきみにより肛門から直接「直腸」が反転して出てくるようになり、高齢の女性を中心に年々増加傾向にあります。今回は意外と頻度が多い割に一般に知られていない直腸脱について概略を紹介します。

最も典型的な直腸脱の写真です



直腸脱って老化現象？

歳をとると内臓も下がり、肛門のしまりも悪くなります。また胃腸の働きも衰え便も出にくくなり、いきむ習慣がひどくなり腸が脱出しやすくなることからある意味加齢が関係しているといえるかもしれません。しかし、病態を十分把握し治療していくためには①直腸 S 状結腸の過長②直腸固定の程度③骨盤底の下降④肛門挙筋の機能低下⑤内外肛門括約筋の機能低下⑥仙骨彎曲の不足(直腸が直立しているか?、直腸肛門角)⑦腸管通貨時間の延長等を十分検討する必要があります、大腸肛門専門医が得意とする疾患です。

直腸脱の症状

排便時のみの脱出で容易に環納できるときは医師を受診しないことが多く、歩いたりおなかに力を入れただけで脱出したり常に脱出したままになると、脱出直腸で肛門がふさがり排便困難となるだけでなく腸から分泌される粘液で肛門周囲の皮膚や下着が汚れ、さらに広がると出血を伴うようになります。通常痛みはなく、いったん脱出するようになると保存的治療ではなかなか軽快せず、かえってひどくなり日常生活が制約されてきます。**自己診断せず大腸肛門専門医を受診しましょう！**